

## かつしかごみ減量リサイクル推進協議会 第4回啓発活動部会結果

第4回啓発活動部会では平成20年度の取り組み結果について報告するとともに、平成21年度の取り組みなどについて意見の集約を行いました。

### 1. 平成20年度ごみ減量月間の取り組み

#### 街頭キャンペーンの実施

身近にごみの発生抑制に取り組むことができるマイバッグ持参キャンペーンを区内15会場にて行いました。会場ではごみの減量に関するアンケートの実施と協力いただいた方にマイバッグ(買い物袋)の配布を行い、ごみの減量を呼びかけました。

\* アンケート協力者数 3,446名

#### 産業フェアへの参加

産業フェアに参加して分別体験ゲームを行い、平成20年度から始まったプラスチック製容器包装のリサイクルの協力について呼びかけました。

\* 期 間 10月17日～19日(3日間)

\* 参加人員 約2,286名

#### ごみ減量キャンペーンに係る物品の提供協力

ごみ減量月間の実施にあたり、団体・事業者から参加者に配布する次の物品の提供をいただきました。

- ・マイバック(かつしか異業種交流会)
- ・おもちゃ(株式会社タカラトミー)
- ・パック飲料(森永乳業株式会社)
- ・ノート(ミヨシ油脂株式会社)
- ・水切りごみ袋(レンゴー株式会社)

#### ごみ減量月間協力団体・事業者

実施にあたり、キャンペーンの従事者や会場の提供、ポスターの掲示や店頭放送によるPR等、推進協議会参加団体・事業者から協力をいただきました。

また、各会場において日本大学学生の皆さんにご協力をいただきました。

#### ごみ減量キャンペーンにおける区の取組結果

区のごみ減量月間の取り組みについては、「広報かつしか」やホームページを通じたPR、ポスターの作成・掲示、キャンペーン物品の用意、職員の配置、その他各種準備・調整を行いました。

## 2. 平成 20 年度「ごみ減量の日」について

### 平成 20 年度「ごみ減量の日」について

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、平成 18 年 11 月から毎月 5 日を「ごみ減量の日」として区民、事業者それぞれの取り組み内容を示し、ごみ減量キャンペーン時等での効果的な P R を行うなど、ごみの減量に対する活動の全区的な広がりを図ってきました。

\* 平成 20 年 4 月から 9 月までの取り組み内容

区 民	資源とごみを正しく分別しましょう。
事業者（小売業）	再生品を積極的に販売しましょう。
事業者（事業所）	資源とごみを正しく分別して、資源を有効利用しましょう。

\* 平成 20 年 10 月から平成 21 年 3 月までの取り組み内容

区 民	マイバッグを利用しましょう。
事業者（小売業）	マイバッグの利用を推進しましょう。
事業者（事業所）	不用品や廃棄物のリサイクルを進めましょう。

### 平成 20 年度「ごみ減量の日」の P R について

- ・区民向け P R については、自治町会連合会の回覧板用ちらしを作成し P R を行いました。
- ・事業者向け P R については、東京商工会議所葛飾支部及び葛飾区商店街連合会を通じて、チラシの裏面を店内や事業所内に掲示できるポスター形式として、区民への P R にもつながるものとなりました。
- ・「ごみ減量の日」前に行うごみ減量キャンペーンについては、キャンペーン会場にてパネルの展示などを行い、「ごみ減量の日」の P R も併せて実施しました。
- ・「ごみ減量の日」を広く普及する目的で、広報かつしかやホームページ、かつしかエフエム等を利用した P R 行いました。また毎月 1 日から 5 日までは区役所入口にのぼり旗を掲げ、来庁者に対して P R 活動を行いました。

### 平成 21 年度の「ごみ減量の日」の取組みについて

毎月 5 日の「ごみ減量の日」には、各団体における活動を推進し、葛飾区全域で活動を行うために、平成 21 年 4 月から 9 月までの取り組みについて次のとおり提案をすることとなりました。

区民の取り組み

積極的にばら売り・量り売りを利用しましょう。

プラスチック製容器包装については、「プラマークの日」に回収して資源としてリサイクルしていますが、ごみ減量に向け

た一番大切な行動は、始めからごみになるものを利用しないことです。そこで容器包装が要らないと思われるものについては、積極的にばら売りや量り売りを利用していきましょう。

#### 事業者の取り組み

(小売店) 不要な容器包装の使用を減らしましょう。

ばら売りや量り売りの商品が無ければ、区民の皆さんも容器包装を使った商品を選ばざるをえません。不要な容器包装の使用を減らすため、容器包装が無くとも販売が出来る商品については、積極的に使用を減らしたり、束ねるだけにするなど減量していきましょう。

(事業所) 不用品や廃棄物のリサイクルを進めましょう。

まだ使えるけれども自分では要らないものなどを捨ててしまっていないですか。他の部署でそれを必要としている人がいるかもしれません。すぐ処分するのではなく必要としている人がいないか探してみましょう。

また、どうしてもごみになってしまうものの中にも、まだまだ資源として利用できるものもあります。分別を徹底して、ごみの減量を推進しましょう。

### 3. 区民・事業者・区による三者の意見交換会について

ごみの減量に向けた具体的な行動についてテーマを絞って意見の交換を行うため、基調講演を行った後、推進協議会参加メンバーである区民、事業者、区に基調講演を行っていただいた学識経験者をコーディネーターとして加えた参加者による意見交換会を開催します。

#### 基調講演について

- ・実施日 平成21年2月16日(月)  
第12回かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会終了後
- ・テーマ 不要な容器包装の削減に向けた区民・事業者・区の協働した取り組みについて
- ・講演者 プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事 滝田靖彦氏

#### 区民・事業者・区による三者の意見交換会について

コーディネーターを交え、容器包装の減量について意見の交換をし、コーディネーターが意見を取りまとめる。

#### 4 . 平成 2 1 年のごみ減量月間の実施について

##### 街頭キャンペーンの実施

ごみの発生抑制を推進するため、買い物時のマイバッグ持参によるレジ袋ごみの削減の呼びかけを中心に商店街などの街頭でごみ減量キャンペーンを行い、区民の意識啓発・行動促進を図っていきます。

キャンペーンでは、ごみの減量に関するアンケートの実施とともに、マイバックの配布を行い、マイバックの利用促進を積極的に行うキャンペーンとしていきます。

##### ごみ減量清掃フェアでのキャンペーンの実施

10月に実施される「ごみ減量・清掃フェア」会場をにて街頭キャンペーンを実施して、ごみの減量を呼びかけていきます。

##### 葛飾区産業フェアへの参加

葛飾区産業フェアに参加し、体験型などのイベントを通じて、ごみの減量を呼びかけていきます。

##### PR活動

ごみ減量月間のPRについては、ポスターを区掲示板に掲示しPRするとともに、推進協議会参加団体に掲示を呼びかけていきます。

また「広報かつしか」や葛飾区ホームページ、FMかつしかを通じて区民にお知らせしていきます。

##### ごみ減量月間での協力団体・事業者

ごみ減量月間に各団体・事業者に協力を依頼し、協力いただいた団体や事業所については、月間内で配布するちらしにより団体や事業者のごみ減量に向けた取り組みをPRなどをしていくこととします。